

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
生活経営	南 有哲	講義	2		2	4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	本講義においては、生命再生産の行き詰まりとしての「少子化」について、市場経済の仕組みや賃金論、格差社会論を踏まえた上で、現状と背景について講じることにより、学生それぞれが生活者ならびに主権者としてこの問題を自律的に考察し、行動することができるようにする。						
到達目標	少子化をめぐって報道される実情や議論の内容を理解し、自ら考察し行動するための基礎的な知識を獲得すること。						
回	学習内容						
1	はじめに——少子化とはどのような事象であるのか						
2	生命再生産活動とは何か——個人レベル						
3	生命再生産活動とは何か——種族レベル						
4	労働とはどのようなことか						
5	生命再生産活動と労働との関係						
6	市場経済の仕組みについて						
7	賃金労働とは何か						
8	現代日本の労働問題——長時間労働						
9	現代日本の労働問題——低賃金						
10	現代日本の労働問題——不安定雇用						
11	労働運動の存在意義と課題						
12	労働における男女格差の問題						
13	進行する格差社会化と貧困の諸相						
14	まとめ——少子化の背景にあるもの						
15	試験 講評						
予習内容 復習内容	予習に関しては、あらかじめ配布した資料の次回該当部分の提示を受け、事前学習を行う。 復習に関しては、毎回小レポートで当日の講義の振り返りを行い、疑問・質問について次回講義で回答を受ける。						
教科書	特に指定せず。独自に作成したレジュメや図表など資料を配布する。						
成績評価	毎回小レポート…50% 試験…50%						
実務経験	なし						
その他 特記事項	毎回小レポートに内容の記載がない場合、その回のレポートについては「不可」扱いとする。						